

7番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 組織改編について</p> <p><b>【質問趣旨】</b></p> <p>本市の行政組織は第6次瀬戸市総合計画の実現及び市民ニーズに柔軟かつ迅速に対応できるよう、平成29年12月議会にて当時の組織改編案を基に事務分掌条例の一部改正議案が上程され、議会の慎重審査、議決を経て改編された。特に危機管理課、シティプロモーション課、まちづくり協働課を市長直轄組織としたことや、課題解決に向けて部課間を超え、柔軟に取り組めるよう「横串連携」を図ることを特色とし事業執行にあたってきた。一方で未経験の危機や突発的な災害等に対し、容易でない場合があるなどの課題も発露してきた。</p> <p>(次ページに続く)</p>	<p>(1) 従来組織の見直しについて</p>	<p>① 今回の組織改編のポイントの一つとして業務のスリム化とあるが、スリム化を図るための協議方法と、結果内容を踏まえ組織改編案にどう反映されたのか伺う。</p> <p>② 多様な働き方への対応など働き方改革の実現に向けた組織とあるが、残業の削減や課内での負荷の平準化、働き方の選択、テレワークの推進等は組織のみならず職員個人によるところもあると考えるが、組織改編でこれらをどう「改革」していくのか伺う。</p> <p>③ もう一つのポイントとしては、有事の際に迅速かつ的確に対応できる組織が求められるとしている。コロナ臨交金のような臨時的な業務に対応可能な柔軟性のある組織の規模を勘案した改編とあり、この視点は賛同するものである。一方で行政の大前提として平時の市民サービスを凡事徹底かつ柔軟に遂行することも大事であり、その積み重ねが市民サービスの向上と行政への信頼に繋がると考えるが、この点に関しての現状の評価と見直しをどう行ったのか伺う。</p> <p>④ 市長直轄組織の見直しについては市長からの指示を基に協議を進めたとの事である。市長から具体的にどの様に提起され、シティプロモーション課及びまちづくり協働課が部属への変更案となったのか、両課の今までの評価と併せて伺う。</p> <p>⑤ 市長は選挙前「市民参加型のまちづくりが不足している」と発言された。であるならば、まちづくり協働課こそ機動性、柔軟性を担保した、市長直轄組織としてしかるべきではないのか伺う。</p> <p>⑥ 「住む/働く/学ぶ/育む」を戦略的に推進していくため、市長はどのような課題があると認識され、現行組織について見直し、改編案に反映させたのか伺う。</p>

( 1 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

7 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>今後は第 6 次瀬戸市総合計画の実現に加え、川本市長が掲げる暮らしの 4 要素（住む/働く/学ぶ/育む）を充実させていくため、これまでの組織を見直し、職員の働き方改革や更なる組織の柔軟性を図り、多様化、複雑化する社会ニーズに対応するため、令和 7 年 4 月改編を見据えた案が示された。</p> <p>そこで条例改正上程及び市民周知期間を鑑み、今回の組織改編案が今後の行政サービスにどう作用していくのかを問うものである。</p>	(2) 課の改編について	<p>⑦ 都市整備部の規模は現状も広範多岐にわたるが、今回はこれに加え農林とアグリカルチャーを所管する農林係も加わることとしている。令和 2 年より下水道事業が公営企業会計化により独立採算性が求められるようになり、さらには令和 6 年 4 月からの組織改編で上下水道担当部長を配置したことを鑑みると、上下水道部として、都市整備部から切り離れた方が、ポイントの一つである施策の役割分担の観点から見た場合、理にかなっていると考えが見解を伺う。</p> <p>① 改編案では農林関係を所管する課が農林課として都市整備部に属するとしている。近年は農地転用の手続きが増え、都市計画課と同フロアになることは、当事者の利便性向上には繋がるが、一方で産業振興として推し進めてきた農産物の販売促進、食育、地産地消などの今後を、社会資本を整備し及び維持するために各事務を分掌している都市整備部の所管とすることで、アグリカルチャー推進をどの様に行っていくつもりか伺う。</p> <p>② 多様性協働課が創設されるとの案であるが、多様性協働についての本市の課題、それを解決する意義と有益性を伺う。</p> <p>③ まちづくり協働課を直轄から部属にし、かつ 2 課に分けたことで柔軟性と市民への影響がどの様なものになっていくと捉えているか伺う。</p> <p>④ スポーツ課は 1 課 1 係で現状の人数も比較的少数である。今回のポイントの一つとして有事の際の組織硬直化を防ぐための組織改編であるが、今回の改編でスポーツ課はどう改善が図られるのか伺う。</p> <p>⑤ 現在の生活安全課は細分化されるが、「日常生活の中で発生する諸問題」に関する相談窓口はワンストップが望ましい。窓口対応の変更案と組織改編後の市民への影響について伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

7 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 本市の現状を捉え、戦略的に解決していくような組織改編になっていくのか	<p>① 2025年問題を間近に控え、本市においての高齢化問題は最重要課題であり対策は最優先で取り組まなければならないと考える。健康寿命を伸ばし、介護予防、認知症予防を積極的に取り組むことは、介護保険サービス給付費等の削減による財政的インセンティブの効果も予想され、かつシニア世代に快活に地域の活動をしていただくことは地域活性化にもつながると考えるが、見解を伺う。</p> <p>② 今回の組織改編は、先ほどの小項目①の課題解決を戦略的に推進、遂行していく組織案になっているのか伺う。</p> <p>③ 甚大災害を想定した地域防災の推進や、増え続ける地域課題や市民ニーズといった行政課題は、1 担当課のみならず行政全体で柔軟に取り組まなければならないと考える。課題解決に迅速かつ的確に取り組むため、部課を超えた機動性重視の横串連携が必要であると考えているが、必要性の見解と組織改編でこれをどう進めていくのか伺う。</p> <p>④ 市民サービス向上に資するわかりやすく便利でスマートな窓口の推進は、今回の組織改編にどう反映していくのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

7 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 改編に向けて	<p>① 改編に向けて市民及び業界などのステークホルダーへの周知の手法と庁内設備変更のスケジュール、予想される予算を伺う。</p> <p>② 現在本庁に在籍する地域振興部所管の各課は瀬戸蔵に移動する案との事であるが、協議内容及び意義、瀬戸蔵での配置案と、空きとなる現在の産業所管部署のスペースの活用案を伺う。</p> <p>③ 今回の組織改編により部課の規模を見直し、窓口対応や市民要望に対し遅滞なく進めていけるようにするとの事である。特に窓口担当職員は更なる柔軟性と広い見識を必要とされ、スキルアップが必要になってくると考えるが見解を伺う。</p> <p>④ 改編後の進行管理及び成功の可否を、客観的な視点で判断するための基準及び評価方法は、どのように行うのか伺う。</p> <p>⑤ 第6次瀬戸市総合計画はあと3年で第7次瀬戸市総合計画に移行予定である。この時期に行なわれる組織改編は、第7次瀬戸市総合計画を意識したものなのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。